



中部フィル

Chubu Philharmonic Orchestra

中部フィルハーモニー交響楽団
小牧特別演奏会 オーケストラの日2023
名曲の調べ

Komaki Special Concert

2023年3月11日(土) 15:00開演

小牧市市民会館



国吉康雄
《ピンクスリッパの少女》
メナード美術館蔵


主催：特定非営利活動法人中部フィルハーモニー交響楽団

共催：一般財団法人こまき市民文化財団

協力：日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION

特別協力：Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

後援：中日新聞社

助成： 芸術文化振興基金助成事業
芸術文化振興基金

こまきと一緒に、育っていききたい。
Komaki

認定NPO法人
中部フィル



©sajihideyasu

—指揮者—

田中 祐子

Yuko Tanaka

平成30年度(第29回)五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。

2020年度ローム ミュージック ファンデーション奨学生。

2018年4月—2020年8月、オーケストラ・アンサンブル金沢指揮者。

東京音楽大学指揮科卒業。入学時に給費特待生として入学。東京藝術大学大学院指揮科修士課程首席修了。パリ・エコールノルマル音楽院オーケストラ指揮科高等ディプロム課程修了。指揮を尾高忠明、広上淳一、ドミニク・ルイスの各氏に師事。東京国際コンクール[指揮]入選、プザンソン国際指揮者コンクール、ショルティ国際指揮者コンクールのセミファイナリスト。

2013年クロアチア国立歌劇場リエカ管弦楽団に招かれ海外デビュー。これまでに、N響、読響、東響、東フィル、新日本フィル、日本フィル、神奈フィル、山響、仙台フィル、札幌、名フィル、大フィル、京響、九響等、全国各地のオーケストラと共演を重ねる。

2015年藤原歌劇団ヴェルディ:「椿姫」でオペラデビュー、2017年日本オペラ協会 原嘉壽子「よさこい節」(於:新国立劇場)、2018年名古屋二期会 團伊玖磨「ちゃんちき」、2019年日本オペラ協会創立60周年記念 三木稔「静と義経」をはじめ、オペラ指揮者としても着実に実績を挙げ、2021年12月のアクリエひめじオープニングシリーズ 池辺晋一郎「千姫」(世界初演)では、第19回三菱UFJ信託音楽賞奨励賞の受賞に導いた。

2015-16-17年シーズンNHK交響楽団首席指揮者パーヴォ・ヤルヴィ公式アシスタント。

NHK-Eテレ「クラシック音楽館」、「らららクラシック」やNHK-FM「名曲アルバム」、日テレ「読響シンフォニックライブ」、テレ朝「題名のない音楽会」等、メディア出演多数。

2022年4月より名古屋音楽大学客員准教授に着任し、演奏活動と共に故郷での教育活動にも取り組む。



©Den Sweeney

—ヴァイオリン—

ティモシー・チュウイ

Timothy Chooi

情熱的な演奏と幅広いレパートリーで世界的な支持を集めているティモシー・チュウイは、カーティス音楽院でアイダ・カヴァフィアンとパメラ・フランクに、ジュリアード音楽院のディプロマ・コースでキャサリン・チョーに、クロンベルク・アカデミーではクリスティアン・テツラフに師事した。

2018年ハノーファー・ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリン・コンクール優勝、2019年エリザベート王妃国際音楽コンクールで2位受賞の他、マイケル・ヒル国際ヴァイオリン・コンクール(ニュージーランド)、モントリオール交響楽団のマニユライフ・コンクールなど権威あるコンクールで受賞している。ヴェルビエ音楽祭で有望な若手演奏家に贈られるPrix Yves Paternotを受賞した。近年、ソリストとして初共演したオーケストラには、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団、シカゴ交響楽団、ロシア・ナショナル管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、モントリオール交響楽団、ルクセンブルク室内管弦楽団、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団、トロント交響楽団がある。

音楽を通した社会活動に積極的であり、自身が共同設立したアンサンブル「The VISION Collective」は 2020年、ハロルドW.マッグロウ・ファミリー財団から音楽教育とコミュニティアウトリーチにおけるロバート・シャーマン賞を受賞した。また、教育面にも力を入れており、オタワ大学音楽学部でヴァイオリン教授として後進の指導にあっている。

使用楽器は日本音楽財団保有のストラディヴァリウス1709年製ヴァイオリン「エンゲルマン」。



ストラディヴァリウス1709年製ヴァイオリン「エンゲルマン」

このヴァイオリンは、アメリカ海軍士官ヤング中佐が第二次世界大戦中に戦死するまで、約150年間ヤング家に大切に保管されていたため、保存状態が優れている。日本音楽財団が保有する以前は、アメリカのアマチュア・ヴァイオリン奏者で収集家のエフレイム・エンゲルマンが所有していたため、現在はこの名前で親しまれている。

中部フィルハーモニー交響楽団



2000年小牧市交響楽団として設立。2007年中部フィルハーモニー交響楽団へ改称。愛知県小牧市を拠点に「地域に根差したトップクラスのオーケストラ」を目指して、主に中部圏で精力的に演奏活動を行っている。古典から近代までの幅広いレパートリーと、アンサンブル技術で高い評価を得ている。これまでに愛知県芸術文化選奨新人賞などを受賞し、「多年にわたる地方自治の発展への功績」に対し愛知県より感謝状を授与された。現在、秋山和慶が芸術監督・首席指揮者、飯森範親が首席客演指揮者を務めている。

ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」作品 9

フランス・ロマン主義の作曲家、エクトル・ベルリオーズ（1803～69）は、1844年に《序曲「ローマの謝肉祭」》を書き上げた。その序曲のなかには、1838年に完成・初演されるも不評に終わった歌劇《ベンヴェヌート・チェッリーニ》の素材がとり入れられている。

ベンヴェヌート・チェッリーニは16世紀フィレンツェの彫金師。明るい導入部からアンダンテ・ソステヌートの入ると、コーラングレが旋律を伸びやかに奏でる。この部分は、《ベンヴェヌート・チェッリーニ》第1幕の二重唱の旋律を用いている。続くアレグロ・ヴィヴァーチェの部分は、同じく第2幕の前奏曲にもとづいている。

サラサーテ：ツィゴイネルワイゼン 作品 20

パブロ・デ・サラサーテ（1844～1908）はスペイン出身のヴァイオリニストで、その妙技を活かした多くの作品を残している。その代表格が《ツィゴイネルワイゼン》である。“ツィゴイネル”はドイツ語でジプシー、“ワイゼン”はメロディを意味し、ジプシーの音楽を素材としている。作品は、テンポの緩急を特徴とするハンガリーの民俗音楽、チャールダーシュの表現で書かれている。3つの部分で構成されており、序奏的な第1部、センチメンタルな楽想の第2部、そして第3部では超絶技巧が駆使され、音楽は壮麗に結ばれる。

マスネ：タイスの瞑想曲

ジュール・マスネ（1842～1912）は、フランス・ロマン主義を代表する作曲家。歌劇や歌曲の創作で名声を博した。「タイスの瞑想」は、《歌劇「タイス」》第1幕の、第1場と第2場の間で演奏される間奏曲。修道僧と娼婦タイスの物語を題材としたオペラであるが、今日では上演される機会が稀である。音楽は、分散和音を静かに奏するオーケストラに導かれ、ヴァイオリンは叙情的なメロディを歌い上げる。

リコウな未来、
理工の技術で。



住友理工

私たちは2014年10月より「東海ゴム工業株式会社」から「住友理工株式会社」へ社名変更いたしました。

サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリチオーソ 作品 28

近代フランスの作曲家カミーユ・サン＝サーンス（1835～1921）は、1871年に国民音楽協会を設立し、フランスの器楽の興隆と発展に尽力した。《序奏とロンド・カプリチオーソ》は、1863年にサラサーテのために作曲されたヴァイオリンと管弦楽のための作品。穏やかな序奏ののち、独奏ヴァイオリンが華やかに展開される。作品は、ヴァイオリンのスリリングな技巧にあふれ、今日に至るまで多くの演奏家のスタンダード・ナンバーになっている。

ビゼー：劇音楽「アルルの女」第1・第2組曲

ジョルジュ・ビゼー（1838～75）は1872年、フランスの作家ドーデが書いた劇《アルルの女》のための音楽を作曲した。そのオペラの27曲のなかから、ビゼーは4曲を選んで「第1組曲」としてまとめた。さらに、ビゼーの亡くなった後、友人のギローが「第2組曲」（全4曲）をまとめた。

【第1組曲】

「前奏曲」悲愴感の漂う音楽で始まる。冒頭の旋律は、そのオペラの舞台となった南フランスのプロヴァンスの民謡「三人の王の行列」にもとづいている。

「メヌエット」典雅なリズムのメヌエット主部につづき、中間部はなめらかなサウンドが印象的。

「アダージェット」静けさと美しさを湛えた弦楽合奏。

「カリヨン」カリヨンは鐘を意味する。その響きを模した堂々とした楽想の主部につづき、中間部では揺れ動くリズムに乗って旋律がなめらかに奏でられる。

【第2組曲】

「パストラール」第2幕の幕開け前の音楽と、その後の合唱の音楽を編み直している。

「間奏曲」重々しい導入ののち、アルト・サクソフォンがメランコリックな旋律を奏でる。

「メヌエット」この戯曲ではなく、ビゼーの《美しきペルトの娘》に用いられた音楽からの引用。ハープとフルートの清楚なメロディが印象に残る。

「ファランドール」ファランドールとは、プロヴァンス地方に起源をもつ舞曲。その踊りのように、音楽も華やかな雰囲気満ちている。

曲目解説／道下 京子（音楽評論家）



クレストグループ

安全安心な鶏卵と豚肉の生産・販売

〒485-0802 小牧市大草 5995 TEL 0568-79-2448